

法律学演習Ⅳ

科目ナンバリング SEM-402
必修 2単位

若山 昇

1. 授業の概要(ねらい)

正しい方法で考えることができる人になる。

現代は様々な情報があふれており、情報を十分に吟味し、情報を体系的に理解し、意思決定を的確に行うためには、論理的な思考は不可欠である。この論理的思考(クリティカルシンキング)は、就職試験でも重要になっている。

本ゼミの目的は、論理的な思考の方法を学び、これを確実に身に付け、使えるようにすることである。論理的な思考を行なうために、覚える事は多くない。しかし、学んだことを使えるようにするのは、難しい。つまり、論理的な思考が、わかることと、解けることは異なる。さらに、解けることと、使えることも、異なる。ゼミでは論理的な思考に必要な知識を、「わかった」⇒「解けた」⇒「使えた」と、確実に習得して、正しく論理的に考える習慣を身につける。このため、ゼミでは討論やプレゼンテーションを積極的に取り入れる。

2. 授業の到達目標

- 正しい方法で考えることができる人になることが、授業の到達目標である。このため、
- ① いつでもどこでも論理的な思考が実践できるように、情報を整理分析し論理的に考える習慣を身に付ける。
 - ② そのため、学んだ知識を「わかった」⇒「解けた」⇒「使えた」と、確実にステップアップする。
 - ③ さらに、ゼミ活動の成果を論文にまとめて外部で発表することを目指す。

■授業方法:

ゼミの主役を学生とし、グループ活動・討論・発表を主体とする。教員はファシリテータとする。

3. 成績評価の方法および基準

*定期試験は行わない。

*発表・討論等によるゼミ貢献度(50%)、課題等の提出(50%)を総合して評価する。

■評価の基準(達成レベルと成績の目安):

S:特に優秀であり、論理的な思考を、いつでも、どこでも十分に使いこなすことができる。

A:優秀であり、教科書を見れば、論理的に思考することができる。

B:教科書程度ならば何とか理解でき、課題・問題ならば、何とか解くことはできる。

C:教科書を理解することや課題・問題を解くことが、難しい。単位取得の最低レベルにすぎない。

4. 教科書・参考文献

教科書

若山昇(著) 『誰でもわかるクリティカルシンキングーそれってホント?』 北樹出版

参考文献

道田泰司(著) 『クリティカル進化(シンカー)論』 北大路書房

渡辺健介(著) 『世界一やさしい問題解決の授業』 ダイアモンド社

5. 準備学修の内容

専門知識は不要であるが、授業には積極的に参加すること。

6. その他履修上の注意事項

*論理的思考(I II III IV)をすでに履修済み、あるいは並行して履修し単位修得がすることが必要である。

*きちんと学習すれば、今後の人生において必ずプラスになるので、討論やプレゼンテーションに積極的に参加することが期待される。

7. 授業内容

- | | |
|--------|----------------------------|
| 【第1回】 | オリエンテーション、内容・方針の説明 |
| 【第2回】 | 担当テーマの決定、分析方法 |
| 【第3回】 | 論理的な思考による事例分析(入門) |
| 【第4回】 | 論理的な思考による事例分析(基礎) |
| 【第5回】 | 論理的な思考による事例分析(応用) |
| 【第6回】 | 論理的な思考による事例分析(発展) |
| 【第7回】 | 論理的な思考による事例分析(活用) |
| 【第8回】 | 論理的な思考による事例分析(まとめ) |
| 【第9回】 | 学生グループによるプレゼンテーション・討論(入門) |
| 【第10回】 | 学生グループによるプレゼンテーション・討論(基礎) |
| 【第11回】 | 学生グループによるプレゼンテーション・討論(応用) |
| 【第12回】 | 学生グループによるプレゼンテーション・討論(発展) |
| 【第13回】 | 学生グループによるプレゼンテーション・討論(活用) |
| 【第14回】 | 学生グループによるプレゼンテーション・討論(まとめ) |
| 【第15回】 | 今期の復習・総まとめ |